

在宅医療・介護連携室ポピーの取組み



徳田 喜恵子

鹿野 詩子

於：在宅医療・介護連携推進事業研修会：大阪府福祉部高齢介護支援課主催)

2018.3.12

山形市の概況

- 人口248,164人(H29年9月末現在)
- 高齢化率28.3%(〃)
- 市に医療機関、訪問看護集中、包括充実13ヶ所
- 共働き家庭の割合、3世代同居率が高い



山形市

全市的な施策の展開

・地域包括支援センター運営協議会 ・虐待対応 ・権利擁護（成年後見等） ・緊急対応等

総人口 248,293人(H28.4.1)

基幹型地域包括支援センター

・各地域包括支援センターの総合調整 ・後方支援

在宅療養支援診療所15
在宅療養支援歯科45

地域包括支援センター13

居宅介護支援事業所69

診療所250、歯科診療所144

病院17

(病床:一般3,179、回復247、包括168、療養192、障害168、精神1,116、結核30、透析84)

地域ケア推進会議

地域ケア個別会議

医療

在宅医療・介護連携室
ポピー

介護

住まい

総合事業

訪問型(現行相当)32
訪問型A13
訪問型C(元気あつぷ)6
訪問型C(栄養あつぷ)3
通所型(現行相当)73
通所型A19
通所型C(元気あつぷ)6

サ高住22
有料老39
軽費老3
養護老2

高齢者数:68,782人(H28.4)
※2024年推計は72,388人
要介護認定者数:
11,354人(29.3月)

訪問看護13、訪問介護38(定期巡回2)、
訪問入浴5、通所55、
通所リハ10、短期27、
短期療養4、小規模多機能41、
看護小規模多機能3、福祉用具24

特定施設入居者生活介護15
認知症対応型通所介護20
介護老人福祉施設15
介護老人保健施設5
介護療養型医療施設2
地域密着型介護老人福祉施設16

住民主体の通いの場
75歳節目訪問
80歳からの生きがい学校
お口若がえり講座

基本チェックリストによる
総合事業対象者数
1,574人(29.3月)

介護予防
生活支援

山形市社会福祉協議会

自治会

生活支援コーディネーター
コミュニティソーシャルワーカー

警察
(おかえり見守り
事前登録制度)

地域

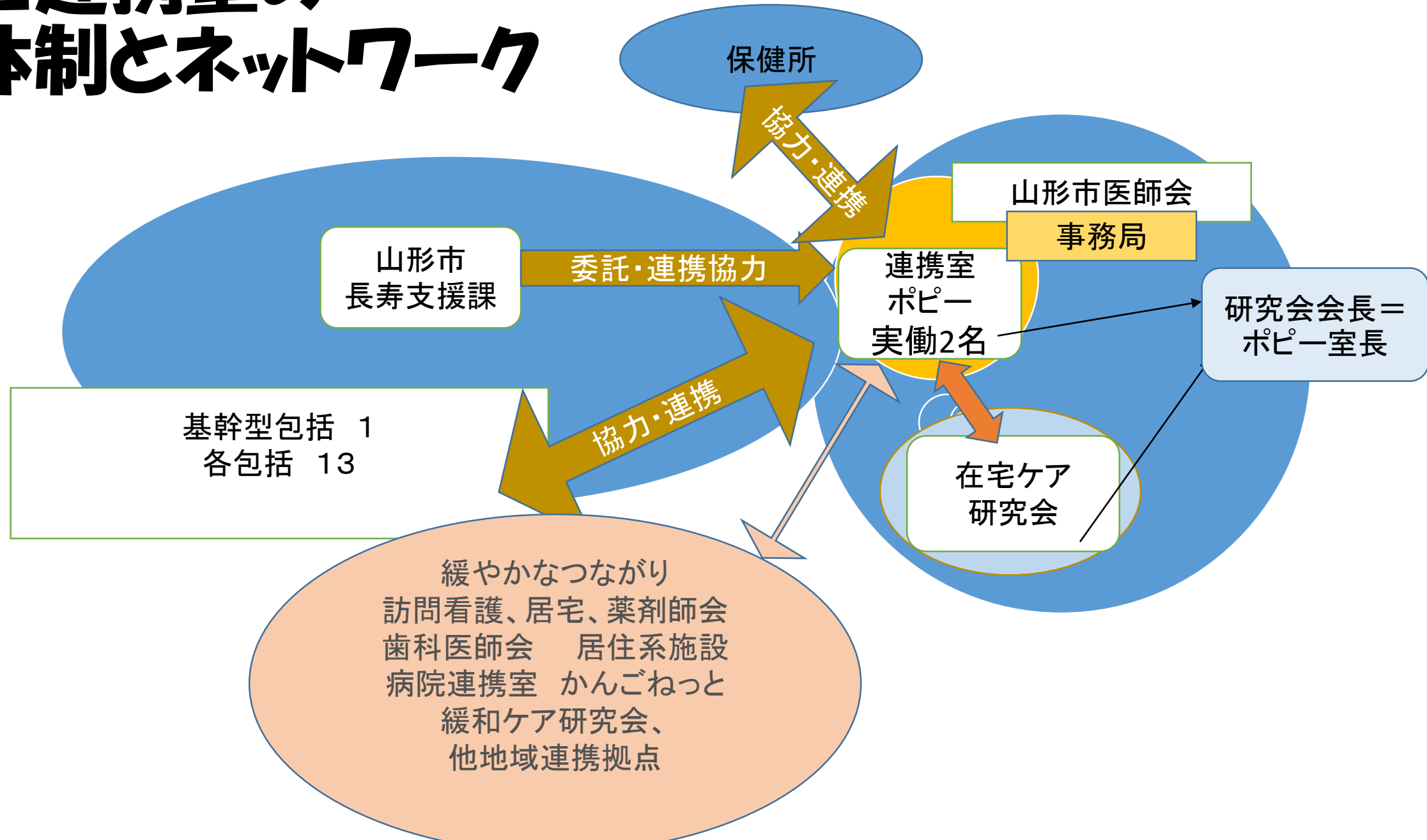
成年後見センター

認知症サポーター18,803人(H29.3末)

出典:山形市
長寿支援課
H29.6現在

H30年度～山形市地域包括ケア推進協議会発足予定(山形市)

当連携室の体制とネットワーク



連携室ポピー運営会議

● 隔月開催

● 構成員

- 保健所2名
- 山形市4名
- 医師会事務局2名
- 医師会医師3名（室長＝副会長、老人保健部担当理事、在宅ケア研究会副会長）
- 連携室職員2名（看護師、社会福祉士）

委託されている事業項目(○印)

(厚労省提示8項目中6項目＋その他)

○ア)地域の医療・介護の資源の把握

○イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

○エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

○オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

○カ)医療・介護関係者の研修

○キ)地域住民への普及啓発

(ク)在宅医療・在宅介護連携に関する関係市区町村の連携

○＋その他の事業

研修



大研修からミニ講座まで



病院や施設へも出向いて

平成29年度2月末まで

- 研修4回
- ミニ講座4回
- 出張講座27回
- 他団体との共同主催3回
- 交流会・懇親会4回

延べ≒1258名参加

目標

多職種が**共通言語**を持つために
顔を合わせて連携につながる場
支援場面での活用→**負担軽減**
より良質なケア提供

※詳細別添

相談窓口

在宅ケア相談窓口とは

パンフレット



29年度2月末までの相談者内訳

・ 医療機関	23件
・ 地域包括	19件
・ 関係機関	6件
・ 居宅介護	8件
・ サービス	11件
・ 住民	27件
・ 他	17件
	計111件

内容内訳(1相談に複数内容あり)

・ 医療全般	26
・ 在宅医療	19
・ 介護相談	12
・ 地域資源	18
・ 認知症	10
・ 研修関係	32
・ 職種間連携	24
・ 他	15
	計156件

医療・(介護)サービス資源の把握



サイトからもポピーHPからもご覧いただけます

やまがた・てんどう・かみのやま
医療福祉相談室等パンフレット



ホームページからダウンロード可能
29年度目的別窓口更新

相談室パンフレットの内容

住所 TEL FAX E-mail	[Redacted]		
相談担当部署名	地域医療連携室		
担当者職	地域医療連携室看護師長 1名 医療社会事業専門員 3名 事務 1名		
相談受付時間	平日（月～金）8:30～17:15		
緊急時の連絡先 （休日・夜間等）	病院代表番号（原則として緊急時対応は行っていません）		
業務内容等	①療養中の心理・社会的問題の相談・調整援助 ②退院支援 ③社会復帰支援 ④受診、受療援助 ⑤経済的問題の相談、調整援助 ⑥地域活動		
病院概要 （病床数等含む）	病床数：308床（内訳 結核30床 重心102床 一般176床） ①神経・筋疾患（てんかん含む）、呼吸器疾患、脳卒中等のリハビリテーション、重症心身障害児（者）に対する医療を中心に行っています。 ②山形県難病医療ネットワークの拠点病院に位置づけられています。（難病拠点病院） ③てんかん医療を専門に行う「てんかんセンター」を設置しています。 ④山形県で結核病床を有する唯一の病院です。（結核拠点病院） ⑤高次脳機能障がい者支援センターを併設しています。 ⑥地域連携バスの連携病院です。（大腿骨頸部骨折・脳卒中）		
附属サービス	[Redacted]		
目的別連絡先	目的	連絡先部署	TEL（内線等）
	入院時情報届け先	地域医療連携室	[Redacted]
	カンファレンス参加依頼		
	診療情報提供書依頼		
	訪問看護指示書依頼		
	主治医面談依頼		
	ケアの注意点の聞き取り等		
	認定調査に係る調整		
	本人面談調整		
	受診相談		
	入院相談		
	ケアプランの送付先		
	その他		

住所 TEL FAX E-mail	[Redacted]		
相談担当部署名	○地域医療連携室：入院相談・外来担当 ○医療相談室：病棟担当		
担当者職	地域医療連携室：室長 1名 医療ソーシャルワーカー 2名 医療相談室：6名		
相談受付時間	9:00～17:00		
緊急時の連絡先 （休日・夜間等）	病院代表 [Redacted]		
業務内容等	地域医療連携室：入院相談・外来相談・その他医療福祉相談等 医療相談室：療養中の医療福祉に関する相談、退院支援、関係機関との連携調整等		
病院概要 （病床数等含む）	診療科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、外科、 肛門外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経内科、神経内科、耳鼻 いんこう科、眼科、皮膚科、婦人科 総病床数：230床 一般病棟110床、障害者病棟60床、回復期リハビリテーション病棟60床		
付属サービス	[Redacted]		
目的別連絡先	目的	連絡先部署	TEL（内線等）
	入院時情報届け先	医療相談室又は 各病棟へ直接	[Redacted]
	カンファレンス参加依頼	外来：地域医療連携室 病棟：医療相談室	
	診療情報提供書依頼	医事課	
	訪問看護指示書依頼	医事課	
	主治医面談依頼	外来・病棟へ直接	
	ケアの注意点の聞き取り等	各病棟へ直接	
	認定調査に係る調整	地域医療連携室	
	本人面談調整	医療相談室又は 各病棟へ直接	
	受診相談	地域医療連携室	
	入院相談		
	ケアプランの送付先	医事課	
	その他	外来：地域医療連携室 病棟：医療相談室	

医療・介護連携の課題の抽出と対応協議

- 課題の一つ **入退院支援** を研修・ヒアリングを通し状況把握
- 山形市担当部署と共に多職種 **ワーキンググループ** 運営
- **退院支援フロー（地域版）** を完成（退院支援に関するケアマネガイドライン）
- **地域ケアマネジャー、包括職員、訪問看護、小規模多機能に周知**
- 地域の動きを理解してもらう為 **市内12病院看護部・連携室訪問**

ワーキング

フロー作成

CMへの周知

病院への周知



時期	人財	連携体制から変更	退院に向けた課題抽出	退院時	退院後から移行時
退院前	<ul style="list-style-type: none"> 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図 ～暮らしの場に残るためのケアマネジャーの視点～ 山形市版 H29.9月 	<ul style="list-style-type: none"> 退院に向けた課題抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図 	<ul style="list-style-type: none"> 退院時 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後から移行時
退院中	<ul style="list-style-type: none"> 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図 	<ul style="list-style-type: none"> 退院に向けた課題抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図 	<ul style="list-style-type: none"> 退院時 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後から移行時
退院後	<ul style="list-style-type: none"> 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図 	<ul style="list-style-type: none"> 退院に向けた課題抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 本人・家族・病院・在宅チームで取り組む退院支援フロー図 	<ul style="list-style-type: none"> 退院時 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後から移行時



●本フローを通して、専門職及び支援者の役割共有に際して、本人・家族から同意を得る。
●在宅チームは常に本人・家族と連携して取り組む ●介護保険の診療と区分変更申請の時期は在宅チームと本人・家族と相談して行う。
●山形市在住・介護保険被保険者のみよりダウンロード可、利用可
作成：山形市在宅ケア・介護連携推進センター（協賛：山形市在宅ケア・介護連携推進センター）

山形市退院支援フロー(地域版) と 市内病院個別訪問レポート



山形市退院支援フロー(地域版)
完成に伴う市内病院個別訪問レポート

**市内12病院へ
個別訪問して来ました。**

山形市福祉推進部長寿支援課
山形市医師会 在宅医療・介護連携室ポピー



住民普及啓発

地域住民への広報と住民啓発の活動から

- ・ **既存の機関や事業所の協力を得る**

地域包括支援センター・住民サロン・カフェ等の居場所
児童民生委員協議会・他

- ・ **地域へ出向く**

顔を知ってもらう・会話する

- ・ **会話の中に気づき**

誰のための医療介護連携か
→患者・家族そして住民

- ・ **選択・決定するのは住民**

住民啓発は住民の選択肢を広げるための情報提供・説明





蔵王・滝山包括 健康講話

H29年9月8日 佐的金のあじさいサロン
「医療と上手につき合うための知識」



【回覧】

私島 犬
平成29年11月発行 第43号

発行所
山形西部地域包括支援センター
山形市千代木の丘5-6-1 電話
0246-64-1156
発行責任者 大山啓史

包括支援センターだより

佐的金のあじさいサロンにおじゃましました！

9月8日に村木沢地区の佐的金のあじさいサロンにおじゃましました。今回は、山形市医師会内に設置されている『在宅医療・介護連携支援センター』の徳田さんと寛野さんにお話をいただき、「医療と上手につきあうための知識」と題した講話をお聞きしました。かかりつけ医を持つことの心強さやお薬手帳の便利な活用法について等、わかりやすくお話しいただきました。

講話後の時間には、それぞれみなさまにお持ちいただいたお薬手帳を眺めながら、「手帳の始まりのページにちゃんと自分のことを書いておくといいな」「処方された薬のほかに飲んだ薬も書いておくことかな」等と話し合いました。

みなさま熱心にお聞きくださり関心の高さが伺えました。

お薬手帳に決まった形式はなく、薬局で取り扱っている。シートを自分で用意して色紙やテープで色紙・体裁等を貼し、日頃の健康状態に反応して居る方もおられるそうです。

お薬手帳活用のポイント(抜粋)

- ・持ち主の基本情報を記載しましょう。
- ・処方持たせと一緒に管理しましょう。
- ・旅行等の外出け付の時も常に持ち歩きましょう。
- ・処方された薬以外に飲んでいるものも忘れず記載しましょう。(市販薬やサプリメント等)
- ・相談したいことや気になることを書いておきましょう。



南沼原包括 南沼原発生涯現役バリバリ講座



包括ふれあい 看取り研修会



吉野宿 認知症予防カフェ「はじめの一步」

医療・介護サービス等の情報共有の支援

ICTを用いた多職種連携～ポピーねっとやまがたの普及活動～

経過

H29年3月市内の運用開始(ポピーが事務局)



登録事務・お問い合わせ対応

ポピーねっとやまがたのホームページ管理

- ・出張勉強会(事業所に出向き実際の画面を見てもらう)
- ・ファーストログインまでフォロー
- ・活用についてのアンケートを実施



- ・活用に積極的な事業者の周りから使いやすくしていく
- ・患者家族の不安に対して活用できるようにお手伝い

その他の事業

・ホームページからの情報発信

ホーム 事業紹介 研修スケジュール 医療・介護情報 入退院支援ツール ポピーねっとやまがた リンク集

山形市医師会 在宅医療・介護連携室「ポピー」

Yamagata City Medical Association
cure and care coordination office

「ポピーねっとやまがた」の提供を開始しました。

※詳しくは当ホームページよりご確認ください。

MedicalCare STATION



新着情報

2018-02-26

NEW! ポピーインタビュー (VOL.3.医師 大島扶美氏)

一覧へ

Feb 14, 2018

寝返り支援ベッドを体験してきました

昨年末、おれんじサポートチームこころの情報交換会にて、悠愛会、大島扶美理事長から「自動で体位交換をしてくれる介護ベッドを開発いたしました」とのお話を伺いました。



Mar 5, 2018

「訪問看護を重度化予防に活用しよう」研修開催

●2月27日18時～標記ポピー研修開催しました。(参加者数66名)



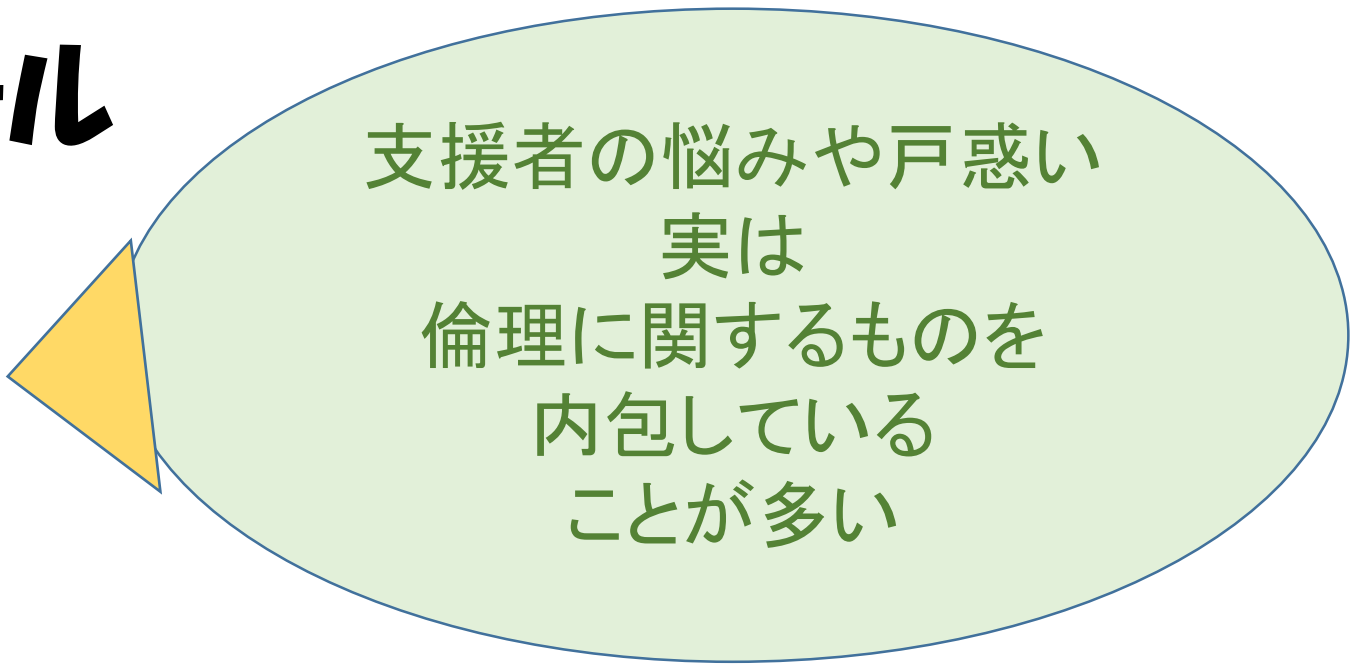
相談支援：事例紹介

※5事例紹介。

詳細希望の方は、ポピーまで。

使える理論やツール

- 倫理の4分割法
- 倫理の4原則
- 各専門職の倫理綱領
- 家族看護論
- 人生の最終段階における意思決定支援のガイドライン
- 緩和ケアにおけるスピリチュアルケアの考え方
(自律性、時間性、関係性の喪失から来る痛みへの支援)



支援者の悩みや戸惑い
実は
倫理に関するものを
内包している
ことが多い

倫理って何？ 日常感じている「??」が実は倫理

- 「なんか変だ？」
- 「何か誰かに不利益が生じているんじゃないか？」
- 「誰かと誰かの価値観がぶつかってる？」

医療倫理の4原則

- **自律尊重原則**: 自律的な患者の**意思決定**を尊重せよ
- **無危害原則**: 患者に危害を及ぼしてはならない
- **善行原則**: 患者に利益をもたらせ
(**患者にとっての最善は何か**)
- **正義原則**: 利益と負担を公平に分配せよ

倫理の4分割法・・・もやもやを整理

医学的適応

Medical Indication

(Beneficence, Non-maleficence: 恩恵・無害)

チェックポイント

1. 診断と予後
2. 治療目標の確認
3. 医学の効用とリスク
4. 無益性(futility)

1. QOLの定義と評価

(身体、心理、社会、スピリチュアル)

2. 誰がどのような基準で決めるか

- ・ 偏見の危険
 - ・ 何が患者にとって最善か
3. QOLに影響を及ぼす因子

Q O L

Quality of Life

患者の意向

Patient Preference

(Autonomy: 自己決定の原則)

チェックポイント

1. 患者さんの判断能力
2. インフォームドコンセント
(コミュニケーションと信頼関係)
3. 治療の拒否
4. 事前の意思表示 (Living Will)
5. 代理決定 (代行判断、最善利益)

チェックポイント

1. 家族や利害関係者
2. 守秘義務
3. 経済的側面、公共の利益
4. 施設の方針、診療形態、研究教育
5. 法律、慣習、宗教
6. その他 (診療情報開示、医療事故)

周囲の状況

Contextual Features

どんな相談支援をめざしているか

- ・可能な限り**ワンストップ**で(住民の切なる要望)
- ・**助言と協働**の使い分け
- ・**当室職員の背景を強みとして活かす**

看護師(在宅看護学修士課程でコンサルテーションを学んでいる)
(訪問看護歴21年)

社会福祉士(包括経験、病院看護師経験もあり)

相談を通して何ができるか

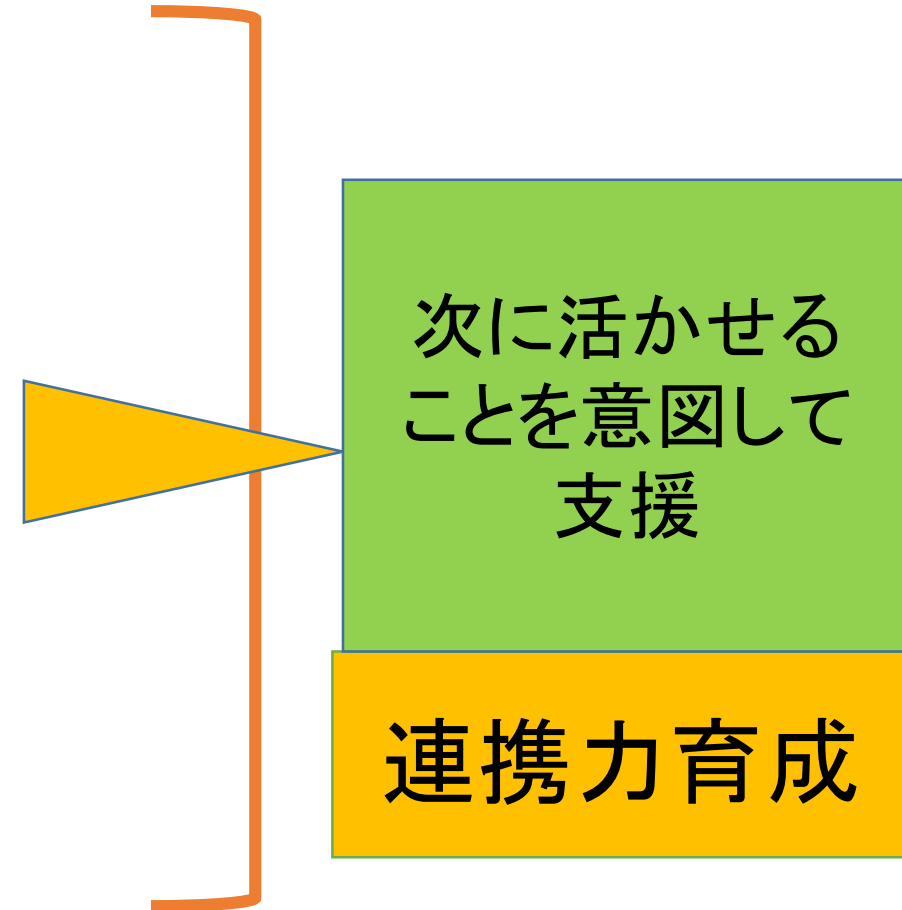
単なる資源のつなぎ役ではなくて

▶ 地域多職種へ

- コンサルテーション
- コーディネーション（調整）
- 倫理調整
- 教育的支援
- 負担軽減

▶ 住民へ

- 適切な医療・介護資源へのつなぎ



次に活かせる
ことを意図して
支援

連携力育成

モットーは医療・介護連携の仕事を楽しむ！



交流会



対面する、話を聞く、理解する、協働する、助けあう
そういう場を作ることを楽しむ！

お互いが
感じたこと
受け止めたことを
その場で整理

良いと思った
ことは
即実行

普段の会話の中から
様々なアイデアが

裁量権
動きやすい環境

ポピーがよく
やってくれてる

信頼

相談・報告

医師会副会長
ポピー室長
根本元 医師

私たちの
イキイキ職場
ポピーです

地域が変化していくことが楽しい2人



ご清聴ありがとうございました。

